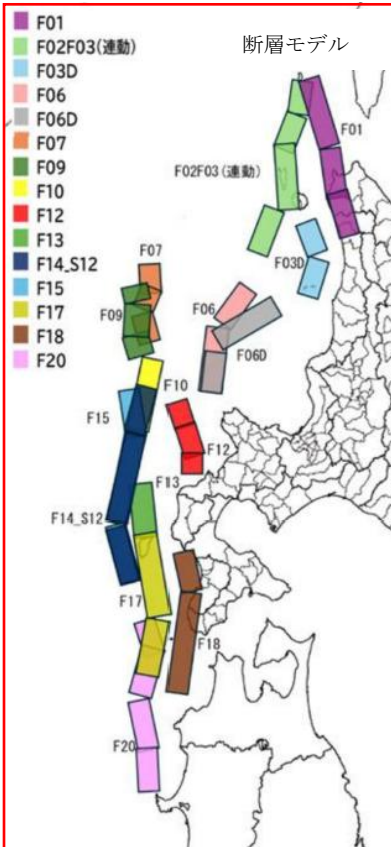
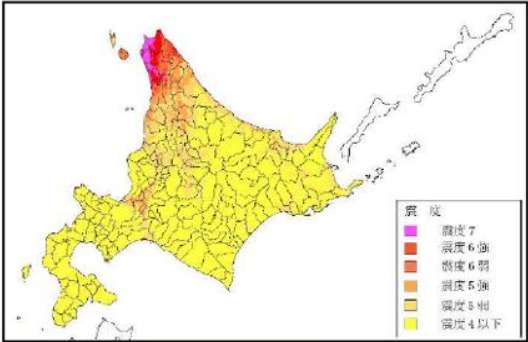
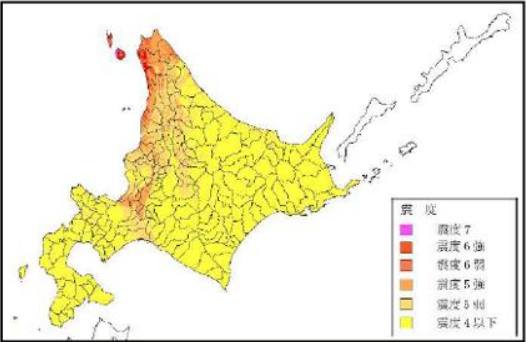
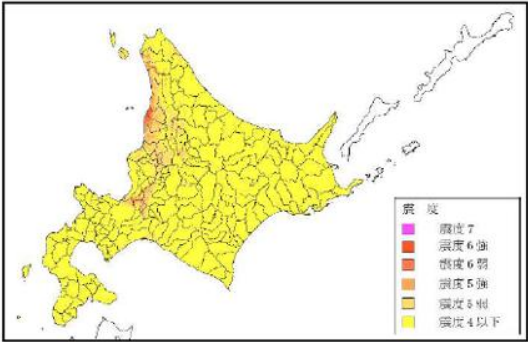
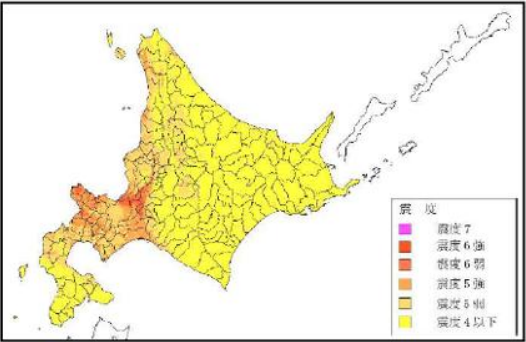
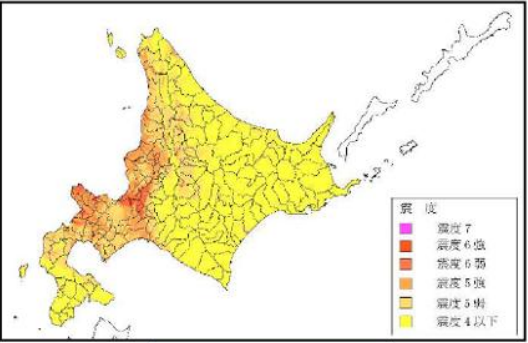
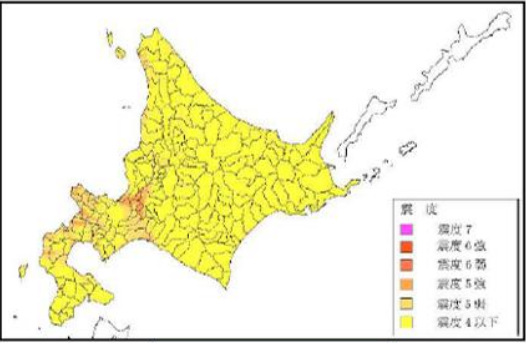


凡例・ ・ ・赤字：改正箇所、N／C：変更なし

利尻町強靱化地域計画の一部改正に伴う新旧対照表

章	項	頁	変更内容	利尻町強靱化地域計画(R7. 4)	変更理由	区 分																														
2	2	3	2 本計画の対象とするリスク N／C (1) 地震・津波 ○ 宗谷地方は、北海道の中でも地震の少ない地域である。北海道日本海側沿岸に影響を及ぼした過去の地震津波・災害を見ると、1940 年（昭和 25 年）の観測開始以来、主な津波は 5 回程度で、震害はほとんどなかった。最近では、1993 年 7 月 12 日に発生した「北海道南西沖地震」で 80 cm、2024 年 1 月 1 日に発生した「能登半島地震」で 23 cm の津波を杓形港でそれぞれ観測した。 ○ 北海道は、道の「地震防災対策における減災目標策定に関するワーキンググループ」において検討を行い、2017 年に「北海道日本海沿岸の津波浸水想定」で設定した、1 5 断層モデルの被害想定を令和 7 年度中に公表することを受けて、利尻町地域防災計画を改正するとともに本計画においても、以下のとおりとする。 【想定する断層モデル】 北海道が想定する断層モデルは 1 5 であり、利尻町に被害をもたらすとされる断層モデルは 6 とされ、被害想定が公表された。  断層モデル ○ F01 ○ F02F03(連動) ○ F03D ○ F06 ○ F06D ○ F07 ○ F09 ○ F10 ○ F12 ○ F13 ○ F14_S12 ○ F15 ○ F17 ○ F18 ○ F20 〈利尻町に被害をもたらすとされる地震(断層モデル)〉 ① F 0 1 ② F 0 2 F 0 3 (連動) ③ F 0 3 D ④ F 0 6 ⑤ F 0 6 D ⑥ F 0 9 〈最も被害が甚大な断層モデル〉 F 0 2 F 0 3 (連動) 〈最大津波高〉 9. 7 m 〈最大津波到達時間〉 7 分 〈サロベツ断層帯について〉 サロベツ断層帯は、天塩郡豊富町から同郡天塩町に至る断層帯で、全体の長さは約 44 km、おおむね北北西－南南東方向に延びている。本断層帯については、最新活動時期を特定できていないため、将来における地震発生の可能性について十分な検討ができない段階にあり、国においても、過去の活動履歴に結びつく資料の蓄積に努めているところである。 (サロベツ断層帯の長期評価の概要) <table><tr><th rowspan="2">断 層 帯 名</th><th rowspan="2">長期評価で予想した 地震規模 (マグニチュード)</th><th colspan="3">地 震 発 生 確 率</th><th rowspan="2">我が国の主な活 断層における相 対的評価</th></tr><tr><th>30年以内</th><th>50年以内</th><th>100年以内</th></tr><tr><td>サロベツ断層帯</td><td>7.6程度</td><td>4％以下</td><td>7％以下</td><td>10％以下</td><td>我が国の主な活断層の中では高いグループに属する</td></tr></table>	断 層 帯 名	長期評価で予想した 地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率			我が国の主な活 断層における相 対的評価	30年以内	50年以内	100年以内	サロベツ断層帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10％以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する	2 本計画の対象とするリスク 利尻町強靱化の対象となるリスクは、自然災害のみならず、大規模事故など幅広い事象が想定され得るが、「北海道強靱化計画」が首都直下地震や南海トラフ地震など、広域範囲に甚大被害をもたらす大規模自然災害を対象としていることなども踏まえ、本計画においても大規模自然災害を対象とする。 また、大規模自然災害の範囲については、目標（１）に掲げる「町民の生命・財産と利尻町の社会経済システムを守る」という観点から、利尻町に甚大な被害をもたらすと想定される自然災害全般とし、さらに、目標（２）に掲げる「国・北海道全体の強靱化に貢献する」という観点から、町外における大規模自然災害についても、利尻町として対応すべきリスクの対象とする。 本計画で想定する主な自然災害リスクについて、過去の被害状況や発生確率、被害想定など災害事象ごとの概略を以下に提示する。 (1) 地震・津波 ○ 宗谷地方は、北海道の中でも地震の少ない地域である。観測開始以来、主な津波は 5 回程度で、震害はほとんどなかった。最近では、1993 年 7 月 12 日に発生した「北海道南西沖地震」で、杓形港で 80 cm の津波を観測した。 ○ 本町に影響を及ぼすおそれのある地震について、利尻町地域防災計画で以下のとおり示している。 【内陸型地震（サロベツ断層帯）】 ・文部科学省の地震調査研究推進本部地震調査委員会の公表結果によると、現時点で町域に影響を及ぼすと考えられる活断層は、サロベツ断層帯と間寒別断層帯である。 ・サロベツ断層帯は、天塩郡豊富町から同郡天塩町に至る断層帯で、全体の長さは約 44 km、おおむね北北西－南南東方向に延びている。本断層帯については、最新活動時期を特定できていないため、将来における地震発生の可能性について十分な検討ができない段階にあり、国においても、過去の活動履歴に結びつく資料の蓄積に努めているところである。このため、今後、新たな知見があった場合には、必要に応じて、地震被害想定を見直すこととする。 ・サロベツ断層帯の長期評価の概要については、次表のとおりであるが、この断層を震源とする地震が発生した場合、本町においても、場所によっては震度 5 強程度の揺れが想定されている。また、間寒別断層帯の評価については、現時点（平成 24 年 4 月 1 日）ではなされていないため不明である。 <table><tr><th rowspan="2">断 層 帯 名</th><th rowspan="2">長期評価で予想した 地震規模 (マグニチュード)</th><th colspan="3">地 震 発 生 確 率</th><th rowspan="2">我が国の主な活 断層における相 対的評価</th></tr><tr><th>30年以内</th><th>50年以内</th><th>100年以内</th></tr><tr><td>サロベツ断層帯</td><td>7.6程度</td><td>4％以下</td><td>7％以下</td><td>10％以下</td><td>我が国の主な活断層の中では高いグループに属する</td></tr></table> 【海溝型地震 【北海道北西沖（沿岸側）】 ・稚内市～初山別村及び積丹町、利尻町の海岸で津波水位が 5 m を超える場所もある。礼文島、利尻島、天売島、焼尻島は波源域に位置することから、地震発生直後津波が到達する。羽幌町以北でも地震発生後 20 分以内に初期水位から 1 m 以上の水位上昇が生じる。 ・人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には 80～290 人、構造物の効果がない場合には 110 人～340 人の死者が発生し、特に稚内市、羽幌町で被害が大きい。	断 層 帯 名	長期評価で予想した 地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率			我が国の主な活 断層における相 対的評価	30年以内	50年以内	100年以内	サロベツ断層帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10％以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する	日本海沿岸の地震・津波被害想定 の公表に伴う。	重 要
断 層 帯 名	長期評価で予想した 地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率				我が国の主な活 断層における相 対的評価																														
		30年以内	50年以内	100年以内																																
サロベツ断層帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10％以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する																															
断 層 帯 名	長期評価で予想した 地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率			我が国の主な活 断層における相 対的評価																															
		30年以内	50年以内	100年以内																																
サロベツ断層帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10％以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する																															

章	項	頁	変更内容	利尻町強靱化地域計画(R7. 4)	変更理由	区 分
			【震度分布】  断層モデル「F01」  断層モデル「F02F03」(連動)  断層モデル「F03D」  断層モデル「F06」  断層モデル「F06D」  断層モデル「F09」 【被害想定】	・建物被害は、全体で700棟弱～800棟強の全壊が生じ、特に稚内市では400棟弱～450棟強の全壊被害が発生する。 【海溝型地震【北海道北西沖（沖側）】 ・礼文島の西海岸で10mを超える津波が到達するほか、津波水位が礼文島全海岸、利尻島、増毛町で5mを超え、石狩市以北で3m以上になる。1m以上の水位上昇が生じる時間は、最も早い礼文島で30分前後となる。 ・人的被害は、避難意識が低い場合で、建造物の効果がある場合には60～220人、建造物の効果がない場合には90～270人の死者が発生し、特に石狩市、小樽市、礼文町で被害が大きい。 ・建物被害は、建造物の効果がある場合には900棟強の全壊が発生し、特に礼文町では400棟を超える全壊が発生する。建造物の効果がない場合では、稚内市で300棟強の全壊が発生し、全体では1,300棟強の全壊が発生する。		

章	項	頁	変更内容	利尻町強靱化地域計画 (R7. 4)	変更理由	区 分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			【被害想定】 ○人的被害 死者数(人)、負傷者数(人) <table><tr><th colspan="2" rowspan="3">断層モデル</th><th rowspan="3">建物倒壊</th><th colspan="4">死者数</th><th colspan="2">負傷者数</th></tr><tr><th colspan="2">津波</th><th rowspan="2">急傾斜地 崩壊</th><th rowspan="2">地震火災</th><th rowspan="2">避難意識高 +呼びかけ</th><th rowspan="2">避難意識低</th></tr><tr><th>早期避難率高 +呼びかけ</th><th>早期避難率低</th></tr><tr><td rowspan="3">F01</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>20</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>30</td></tr><tr><td rowspan="3">F02F03 (連動)</td><td>夏・昼</td><td>20</td><td>70</td><td>160</td><td>—</td><td>—</td><td>130</td><td>150</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>90</td><td>120</td><td>170</td><td>—</td><td>—</td><td>290</td><td>290</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>90</td><td>130</td><td>160</td><td>—</td><td>—</td><td>380</td><td>380</td></tr><tr><td rowspan="3">F03D</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="3">F06</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="3">F06D</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="3">F09</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「—」は5未満。「早期避難率高+呼びかけ」は津波避難ビル等を考慮した場合、「早期避難率低」は津波避難ビル等を考慮しない場合。 ○建物被害 全壊棟数(棟)、流氷の漂着等を考慮した場合の津波による全壊棟数(棟)、津波火災の出火件数(件)、屋外落下物が発生する建物数(棟) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="8">建物被害(全壊)</th><th rowspan="2">津波 火災</th><th rowspan="2">屋外 落下物</th></tr><tr><th>揺れ</th><th>液状化</th><th>津波</th><th>急傾斜地 崩壊</th><th>地震火災</th><th>合計</th><th>流氷に よる増加</th><th>河水に よる増加</th></tr><tr><td rowspan="3">F01</td><td>夏・昼</td><td>20</td><td>10</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>90</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>140</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>90</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>140</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td></tr><tr><td rowspan="3">F02F03 (連動)</td><td>夏・昼</td><td>500</td><td>10</td><td>60</td><td>—</td><td>—</td><td>580</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>510</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>960</td><td>10</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>1,000</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>970</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>960</td><td>10</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>1,000</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>970</td></tr><tr><td rowspan="3">F03D</td><td>夏・昼</td><td>10</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>40</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>40</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td></tr><tr><td rowspan="3">F06</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>10</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>10</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="3">F06D</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>10</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>10</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>10</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="3">F09</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「—」は5未満。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。	断層モデル		建物倒壊	死者数				負傷者数		津波		急傾斜地 崩壊	地震火災	避難意識高 +呼びかけ	避難意識低	早期避難率高 +呼びかけ	早期避難率低	F01	夏・昼	—	—	40	—	—	10	10	冬・夕	—	—	40	—	—	10	20	冬・夜	—	—	40	—	—	30	30	F02F03 (連動)	夏・昼	20	70	160	—	—	130	150	冬・夕	90	120	170	—	—	290	290	冬・夜	90	130	160	—	—	380	380	F03D	夏・昼	—	—	—	—	—	—	—	冬・夕	—	—	—	—	—	—	—	冬・夜	—	—	—	—	—	10	10	F06	夏・昼	—	—	30	—	—	—	10	冬・夕	—	—	30	—	—	—	10	冬・夜	—	—	30	—	—	—	10	F06D	夏・昼	—	—	80	—	—	—	10	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10	F09	夏・昼	—	—	70	—	—	—	20	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10	断層モデル		建物被害(全壊)								津波 火災	屋外 落下物	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	地震火災	合計	流氷に よる増加	河水に よる増加	F01	夏・昼	20	10	40	—	—	70	—	—	—	20	冬・夕	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100	冬・夜	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100	F02F03 (連動)	夏・昼	500	10	60	—	—	580	—	—	—	510	冬・夕	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970	冬・夜	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970	F03D	夏・昼	10	10	—	—	—	20	—	—	—	10	冬・夕	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30	冬・夜	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30	F06	夏・昼	—	10	30	—	—	40	—	—	—	—	冬・夕	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—	冬・夜	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—	F06D	夏・昼	—	10	80	—	—	100	—	—	—	—	冬・夕	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—	冬・夜	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—	F09	夏・昼	—	—	90	—	—	90	—	—	—	—	冬・夕	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—	冬・夜	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—			
断層モデル		建物倒壊	死者数				負傷者数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			津波				急傾斜地 崩壊	地震火災	避難意識高 +呼びかけ	避難意識低																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			早期避難率高 +呼びかけ	早期避難率低																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
F01	夏・昼	—	—	40	—	—	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夕	—	—	40	—	—	10	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夜	—	—	40	—	—	30	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
F02F03 (連動)	夏・昼	20	70	160	—	—	130	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夕	90	120	170	—	—	290	290																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夜	90	130	160	—	—	380	380																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
F03D	夏・昼	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夕	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夜	—	—	—	—	—	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
F06	夏・昼	—	—	30	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夕	—	—	30	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夜	—	—	30	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
F06D	夏・昼	—	—	80	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
F09	夏・昼	—	—	70	—	—	—	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
断層モデル		建物被害(全壊)								津波 火災	屋外 落下物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	地震火災	合計	流氷に よる増加	河水に よる増加																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F01	夏・昼	20	10	40	—	—	70	—	—	—	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夕	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夜	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
F02F03 (連動)	夏・昼	500	10	60	—	—	580	—	—	—	510																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夕	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夜	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
F03D	夏・昼	10	10	—	—	—	20	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夕	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夜	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
F06	夏・昼	—	10	30	—	—	40	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夕	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夜	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
F06D	夏・昼	—	10	80	—	—	100	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夕	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夜	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
F09	夏・昼	—	—	90	—	—	90	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夕	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬・夜	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

章	項	頁	変更内容	利尻町強靱化地域計画(R7. 4)	変更理由	区 分
			(2) 火山噴火 N／C (2) 豪雨 ／暴風雨／台風／強風 N／C (4) 豪雪 ／暴風雪 N／C	(2) 火山噴火 ○本町に影響を及ぼす最も活動的な火山は利尻山である。 ○最新の噴火は、南山麓で起こった玄武岩質マグマからなるマールの形成及び小規模なスコリア丘群の形成とそれに伴う溶岩流の流出である。小規模なスコリア丘群は、土壌の厚さなどから 2000～8000 年前以前に形成されたと推定されているが、現在、噴気活動は認められない。 (3) 豪雨 ／暴風雨／台風／強風 ○住家床下浸水・一部損壊、船の転覆、水産被害（昆布やウニなど）、交通機関の障害（飛行機の欠航及びバスの運休）などが発生している。 ○2004 年 9 月 8 日に発生した台風第 18 号により災害対策本部設置し、町内一部世帯に避難勧告発令（仙法志字御崎で漁民 1 人が高波にさらわれ水死） ○前線を伴った低気圧の影響により、2016 年 9 月 6 日から 7 日にかけて、宗谷地方を中心に大雨となり、24 時間水量が稚内市開運、利尻空港、利尻町沓形などで観測史上 1 位を更新した。なお、利尻島では 2016 年 9 月 6 日は 50 年に一度の大雨となった。 (4) 豪雪 ／暴風雪 ○なだれによる遭難・死者、船の遭難・座礁、家屋の全壊・倉庫の崩壊などが発生している。 ○海氷による水産被害（ウニ、アワビ等）、フェリーの欠航が発生している。		